

<IPA 情報発信第 148 号の内容>

I. 今月のトピックス

1. 「セキュリティ・キャンプ全国大会 2016」を開催

IPA は、セキュリティ・キャンプ実施協議会と共同で「セキュリティ・キャンプ全国大会 2016」を 8 月 9 日（火）から 13 日（土）まで、クロス・ウェブ幕張（千葉県千葉市）で開催しました。

2. 「日本再興戦略」外国人 IT 人材活躍促進に合わせ、アジア 7 カ国におけるキャンペーンの実施

IPA は、外国人 IT 人材の積極活用という気運の高まりを受け、情報処理技術者試験をフィリピン、タイ、ベトナム、ミャンマー、マレーシア、モンゴル、バングラデシュの 7 カ国で実施する“アジア共通統一試験”（ITPEC 試験）について、ハローキティを起用した普及キャンペーンを 9 月から 2018 年 6 月末まで約 2 年間実施します。

3. 鈴木淳司経済産業副大臣（当時）が IPA に来訪

2016 年 8 月 2 日（火）、鈴木淳司経済産業副大臣（当時）が、IPA の視察に来訪されました。

II. 情報セキュリティ

1. 重要なセキュリティ情報（8 月）

III. ソフトウェア高信頼化

1. 「IoT 高信頼化検討ワーキング・グループ」を発足
2. 「SEC journal」第 46 号を発行
3. ツールベンダ向け「コーディング作法ガイド（ESCR）C++言語版 Ver. 2.0 仕様説明会」を開催
4. 「情報処理システム高信頼化教訓のリンク集（IT サービス編）」に新規教訓を公開
5. SEC セミナー開催報告（8 月）および開催案内（9 月）

I. 今月のトピックス

1. 「セキュリティ・キャンプ全国大会 2016」を開催

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当センター長 : 小池)

IPA は、セキュリティ・キャンプ実施協議会と共同で「セキュリティ・キャンプ全国大会 2016」を 8 月 9 日 (火) から 13 日 (土) まで、クロス・ウェーブ幕張 (千葉県千葉市) で開催しました。

セキュリティ・キャンプ全国大会は、IT に対する意識の高い若者を対象とした情報セキュリティに関する高度な教育を通して、技術レベルの向上だけではなく、モラル面、セキュリティ面での意識向上を図り、将来 IT 産業の担い手となり得る優れた人材を発掘、育成することを目的としています。

本年は 231 名の応募者の中から、書類選考で選ばれた高校生から大学院生までの合計 51 名が参加しました。

参加者は、自身の興味に合わせて分野横断的に講義を選択し、益々複雑化・多様化する情報セキュリティ技術の実践的な指導を受けることができます。本年度は、情報セキュリティ分野の第一線で活躍する講師 40 名による、情報セキュリティと多様なテーマを掛け合わせた 34 種の講義を用意しました。また、“集中講義”を 2 トラック新設し、合計 6 トラックで講義を実施しました。

参加者がキャンプで得た情報セキュリティ技術と人的交流経験を活かし、将来、情報セキュリティ分野における最前線で活躍してくれることを期待します。

「セキュリティ・キャンプ全国大会 2016」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/camp/2016/zenkoku2016.html>

2. 「日本再興戦略」外国人 IT 人材活躍促進に合わせ、アジア 7 カ国におけるキャンペーンの実施

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当本部長補佐 : 小川)

IPA は、外国人 IT 人材の積極活用という気運の高まりを受け、情報処理技術者試験をフィリピン、タイ、ベトナム、ミャンマー、マレーシア、モンゴル、バングラデシュの 7 カ国で実施する“アジア共通統一試験”(ITPEC 試験)について、ハローキティを起用した普及キャンペーンを 9 月から 2018 年 6 月末まで約 2 年間実施します。

キャンペーンでは、各国にちなんだデザインのハローキティのクリアフォルダを受験者に配布するほか、ハローキティをあしらったポスター、チラシ、ウェブサイトなどを制作します。

アジア全域で広く知られているハローキティを起用することで、ITPEC 試験のより

一層の普及・認知度向上と更なる定着を図り、IT分野における外国人材の活躍促進を期待します。

「日本再興戦略」外国人 IT 人材活躍促進に合わせ、アジア 7 カ国におけるキャンペーンの実施」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/about/press/20160824.html>

3. 鈴木淳司経済産業副大臣（当時）が IPA に来訪

（担当理事：川浦、担当部長：米田）

2016年8月2日（火）、鈴木淳司経済産業副大臣（当時）が、IPAの視察に来訪されました。

IPAからは、サイバーセキュリティ対策の概要や今後の対応、標的型サイバー攻撃に対処するための取り組みである「サイバー情報共有イニシアティブ J-CSIP（ジェイシップ）」、「サイバーレスキュー隊 J-CRAT（ジェイクラート）」をはじめ、「つながる世界の開発指針」、「セキュリティ・キャンプ」、「未踏事業」、「情報セキュリティマネジメント試験」等についての説明を行いました。

「鈴木淳司経済産業副大臣（当時）が IPA に来訪」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/about/news/20160818.html>

Ⅱ. 情報セキュリティ

1. 重要なセキュリティ情報（8月）

（担当理事（本部長補佐）：頓宮、担当センター長：江口）

IPAでは、インターネットを使っている多くの利用者が影響を受けるセキュリティ対策情報を対象に「重要なセキュリティ情報」として公開しています。

「重要なセキュリティ情報」とは、放っておくと不正アクセスやデータが盗まれるなどの危険性が高いセキュリティ上の問題と対策についてお伝えするもので、2013年12月から広く啓発するため記載しています。発信情報から、ご自身のPCやシステムへの影響を判断の上、速やかな対策を心がけてください。

8月は、「緊急」1件、「注意」1件を公開しました。

「重要なセキュリティ情報」の詳細については、次のURLをご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/announce/alert.html>

Ⅲ. ソフトウェア高信頼化

1. 「IoT 高信頼化検討ワーキング・グループ」を発足

（担当理事（本部長）：川浦、担当所長：松本）

IPAは、IoT製品を開発する各業界向けに「つながる世界の開発指針¹」を具体化した「IoT高信頼化機能要件」の策定を目的として「IoT高信頼化検討ワーキング・グループ」を発足し、その活動内容を8月8日（月）に公開しました。本ワーキング・グループでの検討内容は逐次公開していく予定です。

本活動を通じてIPAは、より一層、安全・安心なIoT製品の開発が進み、利用者である国民一人ひとりが安心してIoT製品を活用できる環境整備につなげていきます。

「IoT高信頼化検討ワーキング・グループ」の詳細については、次のURLをご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/sec/info/20160808.html>

¹ IPAが2016年3月に公開した、自動車や家電などのさまざまなモノがインターネットを通じて相互に接続する「IoT社会」におけるサフティ・セキュリティなどのリスクに対処するための業界横断的な開発指針。
<http://www.ipa.go.jp/sec/reports/20160324.html>

2. 「SEC journal」第46号を発行

(担当理事(本部長):川浦、担当所長:松本)

IPAは、「SEC journal」第46号を9月1日(木)に発行しました。「SEC journal」は、2005年1月に創刊号発行以来、毎年4回発行しており、SECの活動成果やソフトウェア開発に関する事例や論文を掲載しています。

「SEC journal」第46号の主な掲載記事は、以下のとおりです。

- ・ 所長対談：新たな時代を担う組み込みシステムの技術者に求められるものとは
組み込みシステム産業振興機構(ESIP) 組み込み適塾 塾長/
大阪大学大学院 教授 井上 克郎 氏
- ・ 論文：プロセス改善技術者育成コースの設計と実装
- ・ 特集：組み込みソフトウェア開発
- ・ 報告：Embedded Technology West 2016 (ETWest2016) 出展報告
- ・ 連載：情報システムの障害状況 2016 年前半データ

「SEC journal」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/sec/secjournal/index.html>

3. ツールベンダ向け「コーディング作法ガイド(ESCR) C++言語版 Ver. 2.0 仕様説明会」を開催

(担当理事(本部長):川浦、担当所長:松本)

IPAは、10月に予定している「組み込みソフトウェア開発向け コーディング作法ガイド [C++言語版]」(ESCR C++言語版)² Ver. 2.0の公開に先立ち、本書に準拠したコード解析ツール³の開発を検討中のツールベンダ様向けに、仕様説明会を8月19日(金)に開催しました。

ツールベンダ様には、本説明会をビジネスチャンスとしてご活用いただくとともに、新しいコーディング作法ガイドの公開と同時期に解析ツールを提供いただくことで、ソフトウェア開発現場へのガイド導入の利便性を高め、より効率的で高信頼な組み込みソフトウェアの開発につなげていただくことを期待しています。

ツールベンダ向け「コーディング作法ガイド(ESCR) C++言語版 Ver. 2.0 仕様説明会」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/sec/info/20160804.html>

² 組み込みソフトウェアを間違いなく、かつ効率的に開発するために、読みやすさ、不具合の入り込みにくさなどを考慮したプログラムの書き方のルールを定めたガイドライン(C++言語用)。

³ プログラムの動作をシミュレートし、記述ミスなどを自動で検出するソフトウェア。

4. 「情報処理システム高信頼化教訓のリンク集 (IT サービス編)」に新規教訓を追加

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当所長 : 松本)

IPA は、2015 年 12 月から、情報処理システムの障害事例情報の収集・分析により得られたノウハウや知見を「教訓」として整理・体系化し、「情報処理システム高信頼化教訓のリンク集 (IT サービス編)」にて随時公開しています。

8 月は、以下の 1 件の教訓を新たに追加しました。

教訓 ID	教訓の種類	教訓のタイトル
G15	保守作業時のリスク管理に関する教訓	保守作業は「予期せぬ事態の発生」を想定し、サービス継続を最優先として保守作業前への戻しを常に考慮すること

IPA は、本取組みを通じて各教訓の活用を促進し、情報処理システムの障害とそれに伴う被害が最小限に抑えられることを期待します。

「情報処理システム高信頼化教訓のリンク集 (IT サービス編)」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/sec/system/lesson.html>

5. SEC セミナー開催報告 (8 月) および開催案内 (9 月)

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当所長 : 松本)

IPA は、事業成果を広く普及・啓発することを目的としたセミナー、ソフトウェア・エンジニアリングに関する国内外の最新動向などを紹介する特別セミナーをそれぞれ実施しています。

8 月は、次の日程で実施しました。

- ・「『ゴール指向経営』 的を射た IT 投資、利益を生む組織に～「GQM+Strategies」の活用で組織内の整合性確保と定量的管理を実現～」(8 月 5 日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160805.html>

- ・「SEC 高信頼化技術適用事例セミナー IoT 時代、人を優先したものづくりで新たな価値を～HCD⁴、UX⁵適用事例紹介～」(8 月 24 日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160824.html>

⁴ Human Centered Design: 人間中心設計

⁵ User experience: ユーザ体験

- ・「統計指標に基づくベンチマーキングによる信頼性・生産性向上へのアプローチ～「ソフトウェア開発データ白書」を活用した具体的な推進方法の紹介～」(8月29日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160829.html>

9月は、次の日程で開催を予定しています。

- ・「IPA/JEITA 共催セミナー ソフトウェア開発のモデリングの課題と施策～モデリングを成功させるには～」(9月2日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160902.html>

- ・「形式手法、形式仕様記述入門@大阪～厳密な記述と検証についてのワークショップ～」(9月3日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160903.html>

- ・「第3回 定量的マネジメントセミナー」(9月5日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160905.html>

- ・「プロセス改善推進者育成セミナー～プロセス改善概説と改善ツール体験～」(9月6日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160906.html>

- ・「非機能要求の明確化に基づく、災害にも安心なITサービス継続のためのシステム基盤の構築～「非機能要求グレード」・「高回復力システム基盤導入ガイド」の解説～」(9月7日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160907.html>

- ・「「非機能要求グレード」実践セミナー～システム基盤の非機能要件定義を講義と演習で身につける～」(9月12日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160912.html>

- ・「IoTセキュリティの実現に向けて～IoT時代のリスク対策に役立つ3つの指針・ガイドラインの紹介～」(9月16日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160916.html>

- ・「事例から学ぶITサービスの高信頼化へのアプローチ【第2回】～システム障害事例分析から導出した教訓共有のすすめ(演習付)～」(9月27日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20160927.html>

問合せ先 独立行政法人情報処理推進機構
戦略企画部 企画・調査G 笛木・野村
〒113-6591
東京都文京区本駒込二丁目 28 番 8 号
文京グリーンコートセンターオフィス
TEL : 03-5978-7503
E-mail : spd-plan@ipa.go.jp